

令和3年度版『現代の国語』年間学習指導計画例

■3年

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
4	1 豊かに想像する	岩が 【読む(詩)】 2時間 ●描かれた情景を想像しながら読み、内容を理解する。(Cイ) ●詩にこめられた作者の思いを捉え、自分の意見をもつ。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 描かれた情景を想像しながら読み、内容を理解する。 ・情景を想像しながら音読する。 ・詩に描かれた「岩」と「魚」の逆らい方を、それぞれ説明する。 2 2 詩にこめられた作者の思いを捉え、自分の意見をもつ。 ・「岩」と「魚」にとって「流れ」とはどのようなものか、話し合う。 ・作者の思いを捉え、それについてどう考えるか、話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 思・判・表 ①「読むこと」において、 <u>文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えている。(Cイ)</u> ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで文章に表れているもの見方や考え方を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
		握手 【読む(小説)】 読み方を学ぼう① 回想 4時間 ●小説の構成や場面の展開を捉え、その効果を評価する。(Cウ) ●過去を回想する語り手の思いを捉え、それに基づいて自分の考えをもつ。(Cア)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 小説の構成や場面の展開を捉える。 ・本文を通読する。 ・時間を観点にして本文をくざり、構成を捉える。 → 読み方を学ぼう① 回想 → 読書の広場「高瀬舟」 ■二次元コード■ 2 2 登場人物のしぐさに着目して、心情を捉える。 ・ルロイ修道士の特徴的なしぐさとその意味を捉える。 ・握手の仕方に着目して、ルロイ修道士の変化を整理する。 3 3 過去を回想する語り手の思いを捉え、自分の考えをもつ。 ・ルロイ修道士が病気ではないかと感じた「私」の言動について考えを交流する。 ・最後の場面の「私」の心情を考える。 4 4 小説の構成や場面の展開の効果を評価する。 ・最後の場面から感じたことを交流する。 ・最後の場面の効果を考える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、 <u>文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。(Cア)</u> ②「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) 主 ・進んで物語の展開の仕方などを捉え、学習課題にそって批評しようとしている。	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
5		言葉発見① 辞書の語釈 1時間 ●辞書の語釈について理解し、語彙を豊かにする。(知・技(1)イ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 辞書の語釈について理解する。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		グループディスカッション 合意形成に向けて 話し合いを計画的に進める 【話す・聞く】 4時間 ●話し合いを計画的に進行するための方法を理解し、活用する。(Aオ) ●話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりする。(Aエ)	1	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 話し合いを計画的に進行するための方法を理解する。 ・話し合い記録から、「話し合いのこつ」を見つける。 ・「話し合いのこつ」のはたらきや効果について考える。 2 話し合いを計画的に進行するための方法を、グループディスカッションで活用する。 ・「話し合いのこつ」を活用して、グループディスカッションを行う。 ・効果的な発言とその効果を、発言メモにまとめる。 3-4 3 話の展開を予測しながら聞き、自分の考えをまとめる。 ・発言メモをもとに、グループディスカッションを振り返る。 ・特に効果的だった発言や、「話し合いのこつ」について交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ① 「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Aエ) ② 「話すこと・聞くこと」において、 <u>進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</u> (Aオ) 主 ・積極的に進行の仕方を工夫しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。	互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(Aイ)
		漢字を身につけよう① 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ① <u>第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</u> ((1)ア) ② 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
6	2 わかりやすく伝える	読み方を学ぼう② 批判的な読み 「批判的に読む」とは 【読む(評論)】 1時間 ●批判的に読む方法について理解する。(Cウ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 批判的に読む方法について理解し、文章の構成や表現の仕方について評価する。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・批判的に読むための三つのポイントを捉える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	(※「間の文化」と合わせて評価する。)	-
		間の文化 【読む(評論)】 3時間 ●文章の構成や論理の展開の仕方を捉え、評価する。(Cウ) ●「間」や「和」を観点にして、日本文化についての自分の考えを深める。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「間」について、それぞれの特徴をまとめる。 ・「和はこの間があって初めて成り立つ」と筆者が述べる理由をまとめる。 2 2 文章の構成や論理の展開の仕方を評価する。 ・「掟」という言葉が用いられていることの効果を考える。 ・「空間的」「時間的」「心理的」の順序で示されている効果を考える。 3 3 「間」や「和」を観点にして、日本文化についての自分の考えを深める。 ・筆者の主張について、自分の意見をまとめる。 → 読み方を学ぼう② 批判的な読み ・まとめた意見を発表し、交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて文章にまとめる。(Cア)
		課題作文 条件に応じて 説得力のある文章を書く 【書く】 4時間 ●条件に応じて表現を考えたり、資料を適切に引用したりして、自分の考えが伝わるように工夫する。(Bウ) ●文章全体を読み直し、目的や意図に応じた表現になっているか確かめて推敲する。(Bエ)	1	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 課題について、自分の考えをまとめる。 ・課題を読み、条件を確かめる。 ・図表から読み取れることをメモする。 ・メモに感想などを加えて、自分の考えを一つの文に表す。 →資料編「メモを活用する」 2 2 自分の考えが伝わるように工夫して、課題作文を書く。 ・条件に従って、各段落の内容をまとめる。 ・図表に書かれていることを適切に引用して、課題作文を書く。 3 3 交流をとおして、推敲する箇所を見つける。 ・書いた作文を読み合い、感想を伝え合う。 ・推敲の観点を明確にして、推敲する箇所を見つける。 4 4 交流を生かして推敲する。 ・自分の文章を読み返し、交流を生かして推敲する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 思・判・表 ①「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) ②「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(Bエ) 主 ・粘り強く文章全体を整え、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。(Bア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字のしくみ 四字熟語 1時間 ●四字熟語について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 四字熟語について理解を深める。 2 四字熟語の組み立て方の種類について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。(1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使っている。(1)イ) 主 ・進んで四字熟語について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		漢字を身につけよう② 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。(1)イ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
7	3 ものの見方・感性を養う	俳句の世界／俳句十句 【読む(解説/俳句)】 読み方を学ぼう③ 省略 コラム 夏井いつきの 赤ペン俳句教室 3時間 ●俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。(Cウ) ●語句に注意して情景を豊かに想像し、俳句を読み味わう。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。 ・「俳句の世界」を読み、俳句の特徴を書き出す。 →読み方を学ぼう③ 省略 →読書の広場「近世の短詩」 ■二次元コード■ ・「俳句十句」について、情景を想像しながら音読する。 2 2 語句に注意して情景や心情を捉え、俳句を読み味わう。 ・印象に残った俳句を選び、詠まれた情景や心情をまとめる。 ・選んだ俳句の表現の工夫や効果について考える。 3 3 表現の工夫や効果をふまえて俳句の魅力を伝え合う。 ・選んだ俳句の魅力について考えたことをまとめる。 ・まとめた意見を発表し、交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。	詩歌などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		批評文 観察・分析をとおして 評価する 【書く】 5時間 ●読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書く。(Bイ) ●論理の展開や表現の仕方・工夫などについて意見を交流し、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。(Bオ)	1	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 社会生活の中から批評の対象を決める。 ・生活の中で出会ったことや、新聞・書籍などで見聞きしたことから、興味をもった物事を集める。 ・集めたものの中から、批評の対象を決める。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 思・判・表 ①「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(Bイ) ②「書くこと」において、 <u>論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</u> (Bオ) 主 ・粘り強く自分の文章のよい点や改善点を見だし、学習の見直しをもって批評しようとしている。	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。(Bア)
		言葉発見② 和語・漢語・外来語 1時間 ●和語・漢語・外来語について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 和語・漢語・外来語の定義、混種語について理解する。 2 語種の違いによる印象の違いについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・ <u>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</u> ((1)イ) 主 ・進んで和語、漢語、外来語などを使い分け、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		希望 【読む(随想)】 2時間 ●話題とそれに対する筆者の見方に着目して内容を具体的に読み取り、筆者の思いを捉える。(Cイ) ●人間が生きるうえでの「希望」の意味を捉え、自分の考えをもつ。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 筆者の見方に着目して読み取り、筆者の思いを捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・スタシャックさんの人生を簡潔にまとめる。 ・スタシャックさんの「希望」についての考えを捉える。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、 <u>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</u> (Cエ) 主 ・進んで考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって討論しようとしている。	論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論する。(Cア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		私の読書体験 谷間の君へ 【読む】 2時間 ●自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解し、読書をとおして考えを広げたり深めたりする。(知・技(3)オ, Cエ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、感想を交流する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・感じたことや考えたことを交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・学校図書館などで、本を選んで読む。 →読書の広場「小さな図書館」 ・互いに本を紹介したり感想を伝え合ったりする。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 思・判・表 ・「読むこと」において、 <u>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</u> (Cエ) 主 ・進んで人間、社会、自然などについて自分の意見をもち、学習したことを生かして実生活への生かし方を考えている。	実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える。(Cウ)
		漢字を身につけよう㊦ 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ① <u>第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</u> ((1)ア) ② 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
9	4 論理的に考える	フロン規制の物語 ——〈杞憂〉とく転ばぬ先の杖のはざままで 【読む(論説)】 読み方を学ぼう④ 具体と抽象 4時間 ●文章に表れているものの見方や考え方を捉える。(Cイ) ●文章を批判的に読み、科学と社会との関係について自分の考えを広げる。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章全体の構成と概要を捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・フロンの性質を箇条書きで列挙する。 2 異なる立場の説明を読み比べ、筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・具体と抽象に着目して、本文の内容をまとめる。 → 読み方を学ぼう④ 具体と抽象 → 読書の広場『ありがとう』と言わない重さ ■二次元コード■ ・「あなた」という言葉が使われていることの効果を考える。 ・フロン規制に向けた議論を整理する。 3 文章を批判的に読む。 ・「科学的な思考力」と「柔軟な想像力」とはどのようなものか、まとめる。 ・なぜそれらを「ともに」学んでいく必要があるのか、考える。 ・筆者の主張の根拠を検証し、文章を批判的に読む。 4 社会と科学の関係について自分の考えを広げる。 ・身のまわりから、本文の内容にあてはまる例を探す。 ・探した例をもとに、社会と科学との関係について話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで文章を批判的に読み、学習課題にそって考えをまとめている。	説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる。(Cア)
		言葉発見③ 慣用句・ことわざ・故事成語 1時間 ●慣用句・ことわざ・故事成語について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 慣用句の意味と用法を理解する。 2 ことわざ・故事成語について意味や由来を理解する。 3 ことわざ・故事成語の表現効果を理解し、語感を磨く。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 5 日本語と英語の慣用表現の違いについて理解を深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・ <u>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使っている。(1)イ</u> 主 ・進んで慣用句などについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
10	5 古典に学ぶ	和歌の世界 ——万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集 【読む(古文)】 コラム コミュニケーションツール としての歌 4時間 ●和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。(Cイ) ●和歌の形式や表現の特徴を捉え、その効果について理解する。(Cウ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。 ・和歌のリズムと意味の切れめに注意して、音読する。 ・和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を捉える。 2 和歌の形式や表現の特徴を捉える。 ・「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の歌を比較する。 ・それぞれの表現の特徴について、捉えたことを交流する。 3 和歌の表現の効果について理解し、鑑賞文にまとめる。 ・好きな和歌を選ぶ。 ・読み取ったことに自分の感想を加えて、鑑賞文にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、 <u>文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ)</u> 主 ・進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
		おくのほそ道 【読む(古文)】 読み方を学ぼう⑤ 状況・背景 3時間 ●歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉える。(知・技(3)ア, Cイ) ●優れた表現や文体の特徴に着目しながら、作品を読み深める。(Cア, Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 表現やリズムを意識して、古文を音読する。 ・本文を音読する。 ・対句的な表現がもつリズムを味わう。 2 歴史的背景などに注意して、作者のものの見方や考え方を捉える。 ・冒頭部分を読み、芭蕉の旅に対する思いをまとめる。 ・「平泉」での芭蕉の思いを想像する。 3 優れた表現や文体の特徴に着目しながら、作品を読み深める。 ・それぞれの句にこめられた作者の心情やものの見方について考える。 → 読み方を学ぼう⑤ 状況・背景 ・考えたことを交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 (学びを広げる) ・次のどちらかの課題に取り組む。 A「おくのほそ道」全体から一句選び、表現の工夫などに着目して紹介し合う。 → 二次元コード B松尾芭蕉が自分の住んでいる町にやってきたとしたらどのような句を詠むか、想像して俳句を作る。	知・技 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、 <u>文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ)</u> ③「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んでものの見方や考え方について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
		言葉発見④ 言葉の現在・過去・未来 1時間 ●時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解する。(知・技(3)ウ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 言葉は変化すること、言葉の変化にはパターンがあることを理解する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・ <u>時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している(3ウ)</u> 主 ・進んで時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		論語 【読む(漢文)】 漢文の読み方 訓読の仕方の確認 2時間 ●漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方を捉える。(Cイ) ●「論語」の言葉をきっかけにして、生き方や学び方について自分の考えをもつ。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方を捉える。 ・漢文特有のリズムに注意して、音読する。 ・訓読の仕方について確認する。 ・述べられている内容を自分の言葉で捉え直す。	知・技 ①歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3)ア) ②長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ)	文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて文章にまとめる。(Cア)
			2	2 「論語」の言葉をきっかけにして、生き方や学び方について自分の考えをもつ。 ・「論語」から言葉を選んで引用し、考えたことを文章にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、 <u>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</u> (Cエ) 主 ・進んで人間や社会などについて自分の意見を持ち、学習課題にそって文章にまとめようとしている。	
		表現プラザ 漢字一字で表現すると 【書く】 2時間 ●日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。(Bア) ●文章を読み合っ、お互いの表現のよい点を見つける。(Bオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。 ・これまでの自分自身を振り返って、何について表現するか決める。 ・漢和辞典や国語辞典を参考にして、題材にふさわしい漢字一字を決める。 ・決めた理由や、その漢字にまつわるエピソードを文章にまとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。(Bア)
			2	2 文章を読み合っ、お互いの表現のよい点を見つける。 ・書いた文章をグループで読み合い、感想を交流する。 ・交流をとおして見つけたよい点を、自分の表現に生かす。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ①「書くこと」において、 <u>目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。</u> (Bア) ②「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)	
					主 ・粘り強く目的や意図に応じて題材を決め、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字を身につけよう⑤ 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
11	6 情報を関係づける	複数の情報を関連づけて考えをまとめる 【情報】 情報社会を生きる ——メディア・リテラシー 【読む(論説)】 広告の読み比べ 【読む(実用文)】 話す・聞く…2 時間 読む…3 時間 ●具体と抽象など情報と情報との関係に注意しながら、互いの発言を生かして話し合う。(知・技(2)ア, Aオ) ●情報の信頼性の確かめ方を理解して情報を活用し、自分の考えを広げたり深めたりする。(知・技(2)イ, Cア, Cイ, Cウ, Cエ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 資料A「情報社会を生きる」を読む。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・筆者の考えを捉える。 2 文章から読み取ったことをもとに、課題について話し合う。 ・メディアとの関わり方について、文章を読んで考えたことをもとに話し合う。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(Aオ) ②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、論理の展開の仕方などを捉えている。(Cア) ③「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ④「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。(Cウ) ⑤「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。	互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(Aイ) 論説の文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論する。(Cア) 実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える。(Cウ)
			3	1 資料B「広告の読み比べ」にある二つの広告を読み取る。 ・それぞれの広告について、一つ一つの観点からわかることを見つける。 2 二つの広告を読み比べて、作り手の意図を読み取る。 ・それぞれの広告からわかったことを比較し、どのような意図で作られた広告かを考える。 ・読み取ったことを実生活でどのように生かすか考える。		
			4	1 資料Aと資料Bを関連づける。 ・文章から読み取ったことと広告から読み取ったことに共通する項目、関連する項目を見つける。 ・必要に応じて、学校図書館やインターネットを活用し、関連する多様な情報を収集する。 2 課題について、自分の考えをまとめる。 ・読み取ったことや調べたことをもとに、根拠となるデータや文章の一部を引用して、自分の考えをまとめる。		
			5	1 グループで話し合って、考えを深める。 ・それぞれの考えを交流する。 ・互いの考えの共通点や相違点に着目しながら話し合い、課題についての考えを深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		ポスター 情報の信頼性を確かめて 考えを発信する 【書く】 4 時間 ●書く目的や意図に応じて文章の種類を選択し、読み手を説得できるように構成を工夫する。(Bイ) ●信頼性の高い資料を適切に引用して、自分の考えがわかりやすく伝わる文章を書く。(知・技(2)イ, Bア, Bウ)	1-2 3-4	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 ポスターで取り上げる題材を決める。 ・学校生活や社会生活の中から、知ってもらいたいことや改めて考えてほしいことを見つける。 ・題材を決め、どのような種類の文章を用いるのが効果的か考える。 2 構成を考えて下書きする。 ・提示する順序や配置を考える。 ・説得力を高めるために、どのような資料を引用するとよいか検討する。 →資料編「引用と著作権」 3 推敲してポスターを書く。 ・図表やグラフの配置は工夫されているかを確認する。 ・資料は適切に引用されているか、出典が示されているかを確認する。 ・誤字脱字がないかを確認し、清書する。 4 交流する。 ・ポスターを読み合い、感想や意見を伝え合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。((2)イ) 思・判・表 ①「書くこと」において、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(Bア) ②「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(Bイ) ③「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) 主 ・粘り強く集めた材料の客観性や信頼性を確認し、学習の見直しをもってポスターを書こうとしている。	情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。(Bイ)
		文法の窓 文法のまとめ 表現につながる文法 2 時間 ●言葉の選び方による伝わり方や与える印象などの違いについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 「文法の窓」で語句の選択による表現の違いについて考える。 2 「文法のまとめ」「表現につながる文法」について理解を深める。 3 「確認しよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・ <u>話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ)</u> 主 ・進んで話や文章の種類とその特徴について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		漢字を身につけよう⑥ 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
12	7 読みを深め合う	初恋 【読む(詩)】 コラム 文語定型詩と口語自由詩 2時間 ●詩の形式をふまえて音読し、描かれている思いを捉える。(Cア) ●表現の特徴とその効果を捉え、作品を味わう。(Cウ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩の形式をふまえて音読し、描かれている思いを捉える。 ・文語定型詩の特徴とリズムに注意して音読する。 ・文語定型詩の特徴を確認する。 ・「われ」の「君」に対する思いを連ごとに捉える。	知・技 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、 <u>文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ)</u> 主 ・進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
		2	2 表現の特徴とその効果を捉え、作品を味わう。 ・「おのづからなる細道」はどのようなことを表しているか考える。 ・表現の効果について考えたことを書く。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。			
		1	言葉発見⑤ 相手や場に配慮した言葉遣い 1時間 ●敬語のさまざまなはたらきを知り、相手や場に応じた使い分けについて理解を深める。(知・技(1)エ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 状況に合わせて言葉や表現を使い分けしていることを理解する。 2 敬語のさまざまなはたらきについて理解する。 3 敬語を使わずに気配りを表す方法について理解する。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。((1)エ) 主 ・進んで敬語などの相手や場に応じた言葉遣いについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
		故郷 【読む(小説)】 読み方を学ぼう⑥ 反復 5時間 ●登場人物の言動や関係性を捉え、作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。(Cイ, Cエ) ●人物の心情と描写との関連や人物設定など、表現の特徴や工夫を捉え、評価する。(Cウ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 人物の心情と描写との関連や人物設定を捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・過去と現在に場面を分け、場面ごとに人物の描かれ方をまとめる。 ・過去と現在で、「私」の感じ方がどのように変化したかを捉える。 2 登場人物の言動や関係を捉える。 ・場面ごとに登場人物の関係の変化をまとめる。 ・「悲しむべき厚い壁」とは何か、考える。 3 表現の特徴や工夫を捉え、評価する。 ・登場人物が果たす役割を考える。 ・表現の特徴やその効果について考え、話し合う。 →読み方を学ぼう⑥ 反復 →読書の広場「高瀬舟」 ■二次元コード■ 4 作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。 ・「自分の道」「希望」とはどういうことか、考える。 ・作品を読んで考えたことを文章にまとめ、交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) ③「読むこと」において、 <u>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ)</u> 主 ・進んで考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって批評しようとしている。	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		読書活動 ブックトーク 【話す・聞く】 2時間 ●自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。(知・技(3)オ) ●自分の考えを明確にし、論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。(Aイ, Aウ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 話の構成を工夫してシナリオを考える。 ・ブックトークのテーマを決める。 ・これまでに読んだ本や学校図書館にある本から紹介する本を選ぶ。 → 読書の広場「小さな図書館」 ・導入の言葉や本のどの部分を紹介するかなど、話の構成を工夫して発表のシナリオを考える。	知・技 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(Aイ) ②「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ) 主 ・積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案しようとしている。	提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。(Aア)
		漢字を身につけよう⑦ 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
1	8 視野を広げる	「文殊の知恵」の時代 【読む(論説)】 2時間 ●筆者の主張を捉え、自分の知識や経験などと照らし合わせながら内容を理解する。(Cエ) ●文章を読んで、これからの社会について考え、自分の意見をもつ。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者の主張を捉え、自分の知識や経験などと照らし合わせながら内容を理解する。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「文殊の知恵」の辞書的な意味と本文中での意味を捉える。 ・「文殊の知恵」を生み出すために必要なことをまとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 思・判・表 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。	論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて文章にまとめる。(Cア)
			2	2 文章を読んで、これからの社会について考え、自分の意見をもつ。 ・最終段落を読み、筆者の主張をまとめる。 ・筆者の主張について、自分の身近な体験を交えて考えたことを文章にする。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		坊っちゃん 【読む(小説)】 3時間 ●言葉の使われ方や人物の描かれ方に注意して読み、作品の特徴を評価する。(Cウ) ●身近な人との関わり方について考えを深める。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 言葉の使われ方や人物の描かれ方に注意して読む。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「坊っちゃん」はどのような人物か、説明する。 ・「清」は「坊っちゃん」をどのように見ているか、まとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) ②「読むこと」において、 <u>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</u> (Cエ) 主 ・進んで人間や社会などについて考え、学習課題にそって批評しようとしている。	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
		漢字を身につけよう③ 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ① <u>第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</u> ((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。(1)イ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
2		名言集 中学校生活を振り返って 【話す・聞く】 2時間 【書く】 5時間 ●話し合いの仕方を工夫して集めた材料を整理し、考えを広げたり深めたりする。(Aア, Aオ) ●表現の仕方を考え、自分の考えがわかりやすく伝わるように、文章全体を整える。(Bウ, Bエ)	1-3 4-5 6-7	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 編集方針を立て、言葉を集める。 ・名言集のテーマ、集め方、構成、デザインなどを編集会議で検討する。 ・教科書や今まで読んだ本、今までに聞いた先生や友達の話の中から、言葉を書き出す。 ・出典や誰の言葉なのかをメモする。 ・その言葉との出会い、気に入っているところ、誰に届けたいかもメモする。 2 言葉を選び、構成を決める。 ・書き出した言葉を取捨選択し、構成やデザインを決める。 ・編集会議を開き、アイデアを交換したり、アドバイスし合ったりする。 3 推敲して清書し、交流する。 ・誤字脱字がないか、原典と合っているかを丁寧に点検し、清書する。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 ・教室に掲示したり、発表会を開いたりして楽しむ。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、 <u>多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア)</u> ②「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(Aオ) ③「書くこと」において、 <u>表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(Bウ)</u> ④「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(Bエ) 主 ・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の仕方を考え、学習の見通しをもって名言集を作ろうとしている。	互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(Aイ) 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。(Bイ)
		歌の言葉 さくら(独唱)	-	-	-	-